# 令和５年度　道徳教育　全体計画

| 学校番号 | 60 | 赤穂　　高等学校 | 全　　課程 | 普通・商業 科 |
|---|---|---|---|---|

| 学校教育目標 |
|---|
| 憲法および教育基本法の精神に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。<br>1、生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。<br>2、社会及び自然に関する科学的思考を高め、人文領域への関心を深めさせる事で総合的学力の涵養をはかる。<br>3、体育及び芸術教育を通じて、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。<br>4、課程・学科の性格を明確にし、相互の協力をはかる中で、地域に根差ざし、特色の発揮に努める。 |
| **重点目標** |
| 1、自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。<br>2、社会の形成者として必要な規範意識の向上をはかり、基本的な生活習慣の確立と自律的な行動のできる力を養成する。<br>3、地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を発揮できるよう努力する。 |

| 道徳教育の重点目標 |
|---|
| **全ての教育活動を通じて、生徒自らが生き方を深く考え、<br>人権・平和の大切さを学び実践する態度を育む。**<br>1、個人の自由を尊重する。<br>2、自他の生命を尊重する。<br>3、自律的・主体的な姿勢で学習や諸活動に取り組む。<br>4、集団の中で他者との協働に努める。<br>5、全生徒が安心して学校生活を送り、学び成長することを目指す。 |

| 学年 | 目標 | キャリア教育 | ホームルーム活動 | 生徒会活動・部活動等 |
|---|---|---|---|---|
| １年 | ・社会の一員であることを自覚し、学校内外での諸活動を通じて自らを律し、よりよい生き方を選択し行動する力を育成する。 | ・進路見学会，探究的な学習の時間，文理選択などを通じて、様々な進路を知り、自分の進路をより現実的にとらえるとともに、日々の学習への取り組みが進路の選択肢を増やすことにつながることを自覚させる。 | ・他者との違いを認め、他者を思いやり、協力し合う活動（クラスマッチ，文化祭クラス展示等）を通じて、よりよい人間関係を構築する。<br>・SNSに潜む危険性を知り、適切な使用方法を学ぶ。（スマホ安全教室，性被害防止講話） | 学年が異なる集団の中で、規範意識を大切にし、自分の役割と責任を果たし、よりよい活動をする組織をつくる。<br>また、特に部活動においては、困難を乗り越えて互いに技能を高めることができるようにする。 |
| ２年 | ・　互いを認め合い協力する態度を育てる。<br>・　中堅学年として諸活動に積極的にかかわるとともに、下級生の模範となるべきことを自覚し、自発的に行動できる態度を育てる。 | ・インターンシップやボランティア活動などを通じて、社会生活に必要な資質やマナーを身に付けさせる。<br>・日々の学習や社会情勢を知ることを通じて、勤労観・職業観を育てる。 | ・一人ひとりが自分の役割を自覚し、文化祭・クラスマッチ等を通じて他者に感謝するとともに協力し合う態度を育てる。<br>・集団生活において他者とかかわる中で公正・公平・責任等を学び、よりよい人間関係を築く態度を育てる。 | ・上級生を支え、下級生を導く立場を自覚し、自発的に行動する態度を育てる。<br>・最高学年となる次年度を見据え、よりよい活動のために企画・実践する態度を育てる。 |
| ３年 | ・高校卒業を間近に控え、社会の諸課題を主体的に解決しようとする意欲を逃さずに、資質や能力を育んでいく。<br>・一人ひとりの存在に感謝し尊重される社会の実現にむけて道徳的実践意欲と態度を涵養する。 | ・よりよい社会を構成する一人としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う中で進路探究に努める。 | ・一人ひとりがクラスの形成者として、クラスマッチ・文化祭などの準備や練習を通じて、他者の存在に感謝し、ともにクラスを盛り上げて良い人間関係を構築していく力を養う。 | ・生徒会活動を通じて、生徒自らが学校を作っていく自覚を持ち、アイディアを実現させる力を養う。<br>・部活動を通して、生涯にわたり愛好する活動を見つけるとともに、自らの生き方・考え方の基礎となる価値観を身につける。 |

| 各教科 | |
|---|---|
| 国語 | 読む・聞く・書く・話す等の学習を通して豊かな国語を身に付け、様々な考えや生き方を学び、より善く生きる姿勢を養う。 |
| 地理歴史 | 人生そのもの対する価値観が歴史の中で変化し、また現代においても世界の国や地域によって大きな差があることを学ぶ中で、価値観の多様性について理解する。 |
| 公民 | 「青年期」の単元の中で人生に対する答えのない問いを生徒に投げかける。また，倫理・政治・法・経済などに関わる多様な視点を通じて、よりよい社会の構築や人間としての在り方生き方についての考察を行う。 |
| 数学 | 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。 |
| 理科 | 自然の事物・現象を探究する活動を通して地球の環境・生態系の事象を理解し，自然と人間とのかかわりについて認識を深め，生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度の育成につなげる。また，科学史を振り返り、道徳的判断力や真理を大切にする態度を育てる。 |
| 保健体育 | 心と体を一体としてとらえ、生涯に渡って自らの健康を養う資質と態度を身につける。集団の中でお互いを認め合い、協力する態度を育てる。自他の生命を尊重し、危険を予測し回避する資質と態度を養う。 |
| 芸術 | 芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。 |
| 外国語 | 外国語の背景にある自国とは異なる文化・歴史・伝統に対する理解を深め、相互の立場・価値観を尊重しつつ主体的且つ自律的に意思疎通を図ろうとする態度を育成する。 |
| 家庭 | 公共におけるルールやマナーを身に着けながら、他者を思いやり、自ら進んで地域社会とつながろうとする態度を育む。 |
| 商業 | 商業に関する科学的な見方・考え方を働かせ、ビジネス社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付ける。 |
| 情報 | SNSをはじめとする情報の受発信に際して、モラルとマナーに気を遣う力を育てる。特に情報発信に際しては、情報の残存性、複製性、伝播性といった特徴を十分理解し、受け手の立場に立って考えられるようにする。 |
| 総合的な探究の時間 | 地元地域の方々と関りを持ち、更に視野を広げて世界の情勢を自主的に学んでいく中で、多様性を踏まえた道徳的価値について考え実践することができるようにする。 |
| | |

| 家庭・地域との連携 | ・開かれた学校を目指して地域社会との連携を深め、生徒が主体的に社会に貢献する態度を育成する。<br>・日常生活の中で常に学校と家庭の連絡・連携を大切にし、生徒の成長を支援する環境整備に努める。<br>・すべての教育活動を通じて、生徒一人一人の自己実現と幸福、より善い社会の実現を目指す。 |
|---|---|